



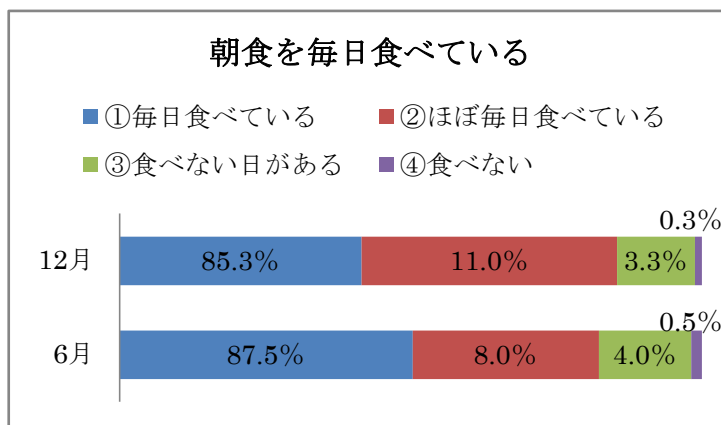
学対だより

那覇市立上間小学校
平成22年2月1日(火)
学対調査研究部

まだ寒い日が続いていますが、暦の上では2月4日が立春です。校庭の木々や草花に目を向けると、来るべき春を心待ちにしているかのようです。

さて、2月は「第3回 家庭学習チャレンジ月間」です。そこで、「3つの構え」調査結果、6月と12月に実施した「生活リズム調査」の集計結果の比較から本校の児童の実態とがんばり等を振り返りながら、今年度の「締めチャレンジ月間」にしたいと思います。

まず、朝食の摂取状況です。「朝食を毎日食べている」と回答した児童は-2.2ポイントと減少しましたが、「毎日食べている・ほぼ毎日食べている」と回答した児童が6月の調査から+0.8ポイントになりました。朝食を「食べない日がある・ほとんど食べない」児童が減ってきました。



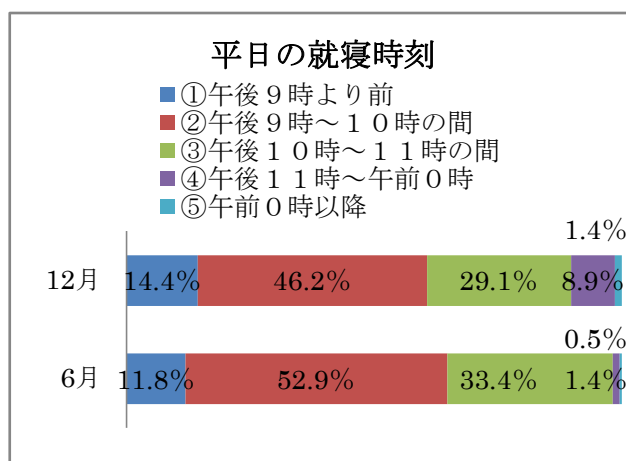
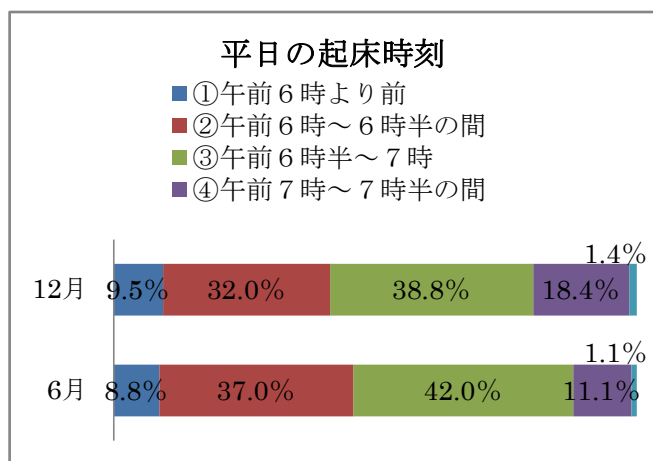
ウィキペディア(ウェブ百科事典)の、「朝食の有無と健康への影響」によると、「朝食

を抜くと、体力や集中力の低下を招き、生体リズムが乱れる結果、午前中の仕事や学業に集中できない。全寮制の大学での調査で、朝食を取ったグループがそうでないグループより学業成績が優れ、欠席時間も少ないとの報告も出ている」そうです。ぜひ、学習効果を高めるためにも朝食は毎日摂るようにして欲しいと思います。

次に、平日の起床時刻です。6:30までの起床を奨励していますが、6月の調査と比較したところ、6:30分までに起床している児童は、-4.3ポイントと低下しています。

結果をよく見てみると、就寝時刻の遅さが目につきます。「10時までに寝ている」児童は6月の調査と比べ、-4.1ポイントの低下です。午後11時以降と回答した児童が中・高学年で増加しています。それが、次の日の起床時刻にひびいていると思われます。

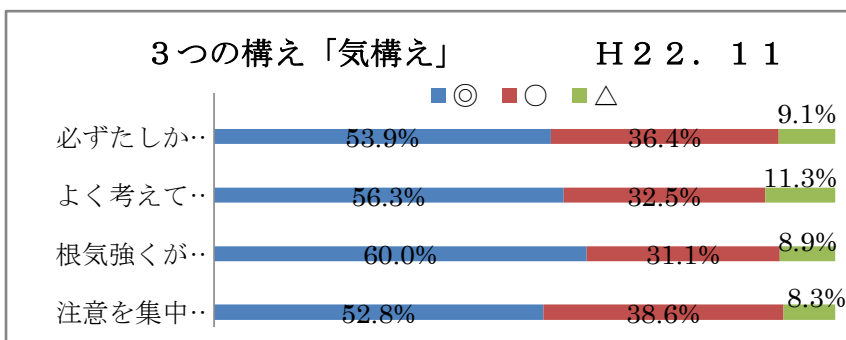
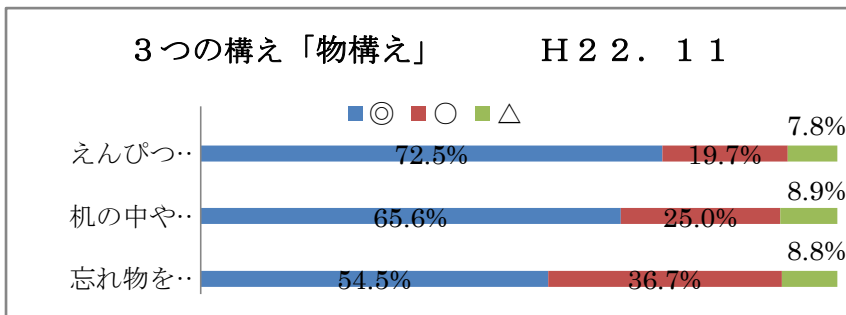
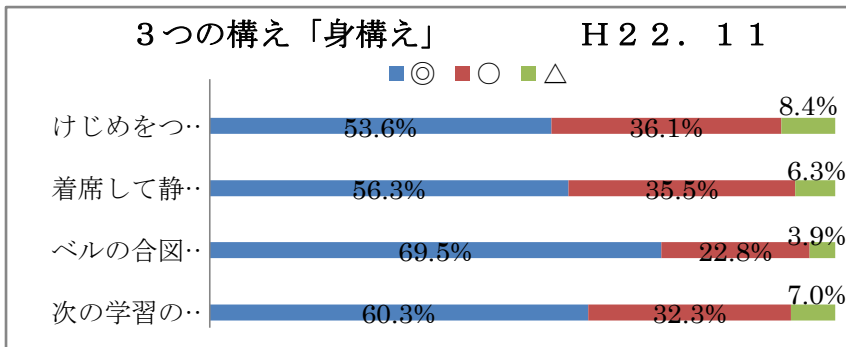
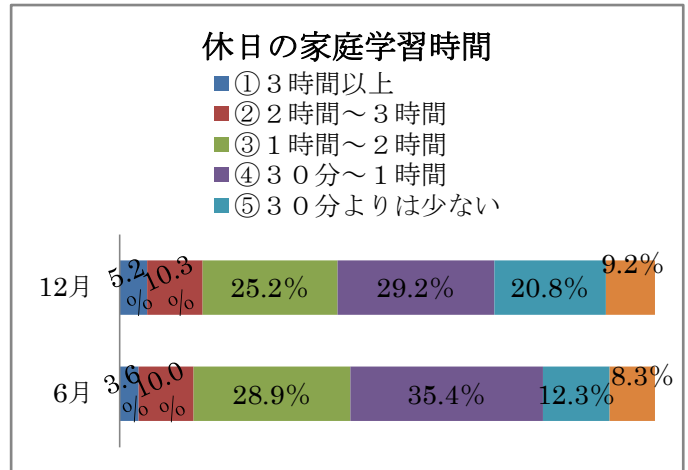
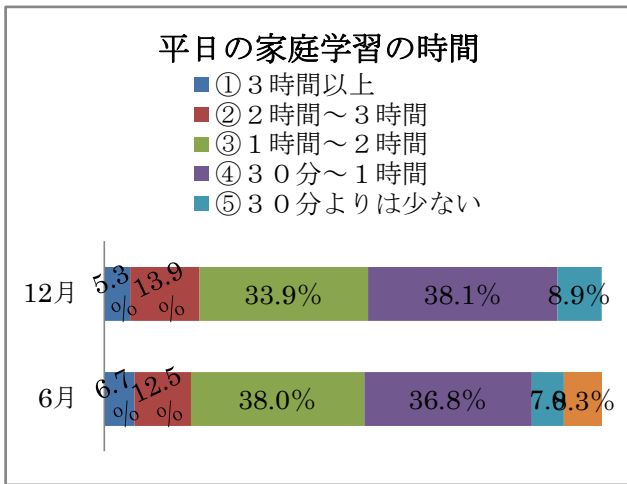
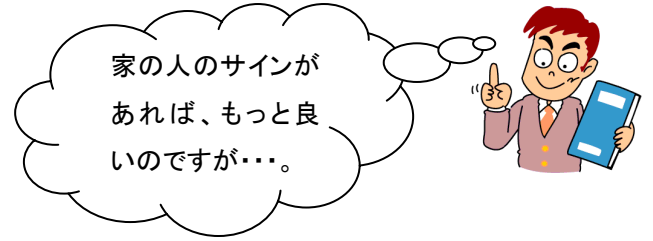
健康面からも、低学年は午後9時までに、高学年も午後10時までに寝ることを奨励します。悪い生活習慣は早めに改善していきましょう。



平日の家庭学習の時間についてです。

6月の調査では、家庭学習を「全くしない」と回答した児童が8.3%でしたが、12月の調査では、0%でした。学習時間も全体的に増加の傾向にあり、それぞれの学年に応じた家庭学習の時間が確保されているようです。

一方、休日の家庭学習の時間は、「30分より少ない」と回答した児童が+8.4ポイントと増加しました。「休日は勉強をしなくていい」という考えの児童が増えているのでしょうか。休日でも、上手なリフレッシュをしながら、一定時間の学習をして欲しいと思います。



「生活リズム調査」に加え、本校では「3つの構え(身構え・物構え・気構え)」についても調査を行いました。

「身構え」については、どの質問に関しても、9割以上の児童が「よくできている・できている」と回答しているが、「はじめをつける」「着席して静かに待つ」の質問では、「よくできている」と回答した児童の割合が低いことが明らかになりました。

「身構え」の項目は、どの質問に関しても9割以上の児童が「よくできている・できている」と回答しています。しかし、「忘れ物をしない」の質問は、「よくできている」と回答した児童の割合が低いことがわかります。忘れ物をしない、させないように家庭でも声かけ等よろしくお願いします。

「気構え」の項目は、どの質問に関しても、9割以上の児童が「よくできている・できている」と回答しています。しかし、「必ず確かめる」「注意を集中する」の質問では、「よくできている」と回答した児童の割合が低いことがわかりました。

今年度もあと2ヶ月ほどとなりましたが、今学年度の締めくくりにあたって、ご家庭の協力も最後までよろしくお願い致します。